

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 8月 6日

## 【評価実施概要】

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 3670100951                         |
| 法人名   | 医療法人 かわせみ                          |
| 事業所名  | グループホーム ハタ                         |
| 所在地   | 徳島県徳島市八多町小倉76<br>(電話) 088-645-2233 |
| 評価機関名 | 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会                  |
| 所在地   | 徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地                   |
| 訪問調査日 | 平成20年8月6日                          |

## 【情報提供票より】(平成20年 7月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 14年 4月 1日           |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人          |
| 職員数   | 7 人 常勤 7人, 非常勤 0人, 常勤換算 7人 |

### (2) 建物概要

|      |              |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り        |
|      | 3 階建ての 2 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |                              |
|---------------------|----------|----------------|------------------------------|
| 家賃(平均月額)            | 28,000 円 | その他の経費(月額)     | 光熱費 12,000円、共益費 3,000円、その他実費 |
| 敷 金                 | 有( 円)    | 無              |                              |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)    | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無                          |
| 食材料費                | 朝食       | — 円            | 昼食 — 円                       |
|                     | 夕食       | — 円            | おやつ — 円                      |
|                     | または1日当たり |                | 1,300 円                      |

### (4) 利用者の概要( 7月15日現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 8 名       | 男性   | 3 名  | 女性 | 5 名  |
| 要介護1  | 2 名       | 要介護2 | 2 名  |    |      |
| 要介護3  | 3 名       | 要介護4 | 0 名  |    |      |
| 要介護5  | — 名       | 要支援2 | 1 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 77.5 歳 | 最低   | 59 歳 | 最高 | 92 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |            |
|---------|------------|
| 協力医療機関名 | セント歯科 八多病院 |
|---------|------------|

徳島県 グループホームハタ 1

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは山や田畑に囲まれた自然豊かな環境にある。管理者と全職員は利用者が地域の中で豊かに暮らせるよう一人ひとりの状況に応じた支援を目指している。また地域との連携を重視して行事などへの積極的な参加をとおして、地域に根付いたホームを目指し取り組んでいる。運営者は全職員を認知症実践者研修に派遣するなどサービスの質の向上に熱意を持ち、職員からも自ら学びたいという意欲が強く感じられる。医療連携体制を活用し、重度化した場合や終末期の支援に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「地域とのつきあい」は、地域の敬老会への参加計画などが立てられ前向きに取り組んでいる。「運営推進会議を活かした取り組み」は、平成19年10月から2カ月ごとに開催されている。「家族等への報告」は、金銭管理を始めとする状況が家族に確認されている。「職員を育てる取り組み」は、外部研修に職員を派遣するなど人材育成に努めている。「鍵をかけないケアの実践」は、日中鍵をかけないケアを実践している。</p> |
|       | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解して全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。</p>  |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催され、利用者、家族、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの見識者、併設病院の精神保健福祉士が参加している。会議内容は利用者を対象として行われる生活満足度調査の報告や防災訓練など、参加者同士の意見交換が積極的に行われている。</p>  |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の来訪時などには気軽に意見や不安を言ってもらえるよう心がけて、コミュニケーションを図っている。また運営推進会議で意見を出してもらったり、苦情などの解決に向けて話し合っている。</p>  |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の秋祭りの時には毎年お神輿が立ち寄り、お囃子などが披露されて利用者の楽しみとなっている。また併設病院で行われるひな祭りや七夕、敬老会、運動会、クリスマス会などの行事に参加して交流を図っている。</p>  |

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 利用者が安心して生活できるよう、また利用者の立場に立った支援ができるよう全職員で地域密着型サービスとしての理念を作り上げている。  |      |  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 職員の採用時やミーティングなどの際に理念について常に話し合い、職員に意識づけている。  |      |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域の秋祭りの時には毎年お神輿が立ち寄り、お囃子などが披露されて利用者の楽しみとなっている。また併設病院で行われるひな祭りや七夕、敬老会、運動会、クリスマス会などの行事に参加して交流を図っている。しかし日常的な地域との交流は少ない。                                  | ○    | 利用者が地域の中で暮らすことを支えるために、地域の人にホームを理解してもらい日ごろの交流を図ることが望まれる。  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 評価の意義を理解して全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。また前回外部評価を活用して課題を検討し、改善に向けて取り組んでいる。  |      |  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2カ月に1回開催され、利用者、家族、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの見識者、併設病院の精神保健福祉士が参加している。会議内容は利用者を対象として行われる生活満足度調査の報告や防災訓練など、参加者同士の意見交換が積極的に行われている。しかし地域住民の参加が得られていない。 | ○    | 地域に根ざしたホームを運営する上で地域住民の協力は大切であるため、町内会や民生委員などに参加を呼びかけられたい。 |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 運営推進会議の議事録やホームだよりを市担当窓口で直接手渡し、実状や取り組みを伝え相談している。   |      |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |                                   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 金銭管理の報告は毎月行い家族のサインをもらっている。また日常の暮らしぶりや健康状態についてはホーム便りで知らせたり、来訪時にその都度伝えている。                  |      |                                   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の来訪時などには気軽に意見や不安を言ってもらえるよう心がけて、コミュニケーションを図っている。また運営推進会議で意見を出してもらったり、苦情などの解決に向けて話し合っている。 |      |                                   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動はほとんどなく、馴染みの職員による支援が継続できるよう努めている。やむを得ない異動などの場合には十分な引き継ぎを行い、利用者への影響が出ないように配慮をしている。    |      |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |   |      |                                   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 全職員が認知症実践者研修を受けている。また法人内研修(感染予防、食中毒など)へも参加している。研修内容は報告して回覧し、確認のサインがあり職員間で共有されている。         |      |                                   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | グループホーム協会に加入して研修などに参加している。また他のグループホームと情報交換を行うなどサービスの質の向上に取り組んでいる。                         |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |  |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |  |      |                                   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前にできるだけ頻繁に来ていただき、事業所の雰囲気やサービス内容を知ってもらい納得・安心して利用できるよう支援している。                                    |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |  |      |                                   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 利用者と職員と一緒に食事の準備や調理、後片付けを行ったり、犬の世話をを行うなど日々の暮らしの中できどもに支えあう関係を築いている。                                |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |  |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |  |      |                                   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 着物で過ごしたい方やおしゃれを楽しみたい方などの意向を把握し、その人らしい生活を支援している。意向の把握が困難な場合は家族などから生活歴などを把握し、本人本位に検討している。          |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |  |      |                                   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 日々の生活の中で利用者の希望や要望を聞き取っている。家族からは来訪時などに気づいたことや意見、要望などを聞き介護計画に反映させている。職員はアセスメントから全員で取り組み計画を作り上げている。 |      |                                   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 介護計画の期間に応じた見直しを行っている。また身体状況や本人、家族の意向の変化に応じてその都度見直している。モニタリングも全職員で取り組み現状に即したものとなるよう努めている。         |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |   |      |                                   |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人や家族の状況や要望に応じて、病院への受診支援など柔軟に対応している。  |      |                                   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |   |      |                                   |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人や家族が希望する専門医に受診できるよう支援し、かかりつけ医などと連携を図っている。   |      |                                   |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居の際に、本人や家族などと重度化した場合や終末期に向けた対応を話し合い、支援方針の同意書にサインをもらっている。                               |      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |   |      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |   |      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |   |      |                                   |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者の誇りやプライドを損なうことがないように、日々のミーティングなどで話し合い意識向上に努めている。また契約書や重要事項説明においてプライバシー保護の規定を明文化している。 |      |                                   |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 一人ひとりの体調やペース、その時々気持ちなどに合わせながら入浴の時間を調整したり、外出の参加を決めたりしている。                                |      |                                   |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者と職員が一緒にご飯を炊いたり、併設病院で作られたおかずの盛り付けや配膳などを行っている。また利用者と職員は同じ食卓を囲み、和やかに会話しながら食事している。                                   |      |                                   |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 利用者の希望に合わせて、夏場は朝風呂にしたり冬場は就寝前に入浴してもらったりしている。また仲の良い利用者同士の入浴希望にも対応している。  |      |                                   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の盛り付けや配膳、後片付けなどを一緒に行い、それぞれの役割を楽しめるよう支援している。またカラオケや三味線、小唄を披露する機会をつくったり、ホームで飼っている犬の世話や散歩を行うなど利用者の希望に合った気晴らしを支援している。 |      |                                   |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 玄関先の草花の手入れや近隣への散歩など、毎日外出できる機会をつくっている。またお花見や裏山の遊歩道へ出かけたり、外食や買い物、喫茶などの外出支援を行っている。                                     |      |                                   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |                                   |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 前回の外部評価以降、全職員で鍵をかけないケアの実施方法を検討し、現在は施錠せず利用者が安心して過ごせるよう支援している。  |      |                                   |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 火事や地震など様々な発生状況を想定し、避難経路や避難場所を変えてホーム独自に訓練している。また併設病院との合同防災訓練も行われている。   |      |                                   |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事・水分摂取量を把握して記録し、職員間で情報を共有している。また水分摂取はお茶の時間を設けるなど利用者の好みに合わせて飲めるよう支援している。食事は管理栄養士が立てた併設病院と同じ献立のおかずを提供し、栄養バランスに配慮している。 |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 廊下や共用スペースにソファーや長椅子を置き、ひとりでゆっくりくつろいだり気の合う利用者同士で話ができるよう工夫している。壁には絵画が飾られ安らげる空間を演出している。                                  |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 使い慣れた日用品や家具、写真や手作りのカレンダーなどが持ち込まれ居心地のよい居室がつけられている。  |      |                                   |